

株主・投資家
への責任

適正な利益還元と情報開示

株主利益の拡大を図るべく、
業績の向上、財務体質の安定化に努めます。株主還元に関する
基本方針

カシオは、株主の皆様の利益を維持・拡大することを重要な経営課題と位置づけ、業績の向上と財務体質の強化に努めています。配当については、安定配当の維持を基本に、利益水準、財務状況、配当性向などを総合的に勘案して成果配分の改善を進め、株主の皆様への貢献を強化します。また、内部留保については、企業の安定成長に必要な研究開発や投資に充当することにより、業績の向上と経営体質の強化を図ります。

2004年度の財務・
配当状況

2004年度、カシオは経営目標の達成に向け、時計、デジタルカメラ、電子辞書、携帯電話、TFT液晶といった戦略事業を強力に推進・展開するとともに、利益率の改善、資本効率の向上など経営効率化に一層の注力を行いました。この結果、売上、利益とも過去最高を達成しました。

配当金については、業績などを勘案し、前期実績の1株につき15円から2円増配して、1株につき17円とさせていただきます。前期に続いての増配となりました。

SRIファンド・インデックスへの
組み入れ状況

SRI (Socially Responsible Investment=社会的責任投資)とは、従来の財務分析による投資基準に加え、法令遵守や雇用・人権問題、社会貢献、環境保全などのCSRの側面から企業を評価・選別しようとする投資手法です。

近年、欧米を中心に急速に拡大しつつあるSRIですが、日本でも多くの投資信託会社がSRI関連商品を販売しており、カシオも以下のファンド、インデックスに組み入れられています。

SRIファンド・インデックスの
組み入れ状況(2005年6月1日現在)

SRIインデックス構成銘柄組み入れ

- モーニングスターSRIインデックス (2004年9月1日付け)

SRIファンド組み入れ

- 住信アセットマネジメント(株)
住信SRI・ジャパン・オープン
「グッドカンパニー」
- 三井住友アセットマネジメント(株)
エコ・バランス「海と空」

株主・投資家に対する
コミュニケーション

「カシオ倫理行動規範」に掲げる企業情報の適時適切な開示の方針に基づき、さまざまなメディアを通じて積極的なIR活動を行っています。

■ 決算説明会

四半期ごとの決算発表と同日に決算説明会を開催し、社長もしくはIR担当取締役がメインスピーカーとなって、機関投資家や証券アナリストの方々に向けて決算内容や将来の見通しを説明しています。そのほかにも、内外の機関投資家や証券アナリストとの個別ミーティング、工場見学、特定事業のスモールミーティングなどを随時行っています。



決算説明会

■ IRツールの充実

IRツールとしては、決算説明会資料(毎四半期)、アニュアルレポート、事業報告書(毎半期)などがあり、それら全てを当社ウェブサイトで公開しています。



アニュアルレポート

事業報告書

URL <http://www.casio.co.jp/ir/>



ウェブサイト「投資家の皆様へ」

■ 個人投資家への対応

カシオは個人投資家の方々に対しても、積極的に情報開示を行っています。ウェブサイトを通じた情報提供の充実を図るとともに、証券会社営業マン向け会社説明会の実施や、株主総会およびその後開催する株主向け経営説明会の内容充実を推進しています。

また、2004年9月1日より当社株式の1単元の株式数を1,000株から100株に引き下げ、投資家層の拡大と株式の流動性の向上を図りました。

■ IR室でのお問い合わせ対応

カシオのIR活動の中心となるIR室では、総務部との連携のもと、国内海外を問わず多くの株主・投資家の皆様からいただくさまざまなお問い合わせにも対応しています。